

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

1, 2-ジメチルナフタレンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

### 試験番号

5 B 4 4 4 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203 「魚類毒性試験」 (1992年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: 1, 2-ジメチルナフタレン
- 2) 暴露方式: 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物: ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間: 96時間
- 5) 試験濃度 (設定値): 対照区, 助剤対照区, 0.50, 1.00, 2.00, 4.00  
および8.00mg/L (公比; 2.0)  
(助剤濃度; 80 mg/L, HCO-30およびアイトン使用, 助剤濃度等比)
- 6) 試験液量: 5.0L
- 7) 連数: 1 容器/濃度区
- 8) 供試生物数: 10尾/濃度区
- 9) 試験温度:  $24 \pm 1^{\circ}\text{C}$
- 10) 照明: 16時間明/8時間暗
- 11) 被験物質の分析: HPLC法

### 結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度: 試験区において設定濃度に対して $\pm 20\%$ を越える分析結果があったため, 結果の算出は測定濃度の幾何平均値を基に示した。
- 2) 96時間の半数致死濃度 (LC50): 2.3mg/L  
(95%信頼区間: 0.94mg/L~3.8mg/L)